

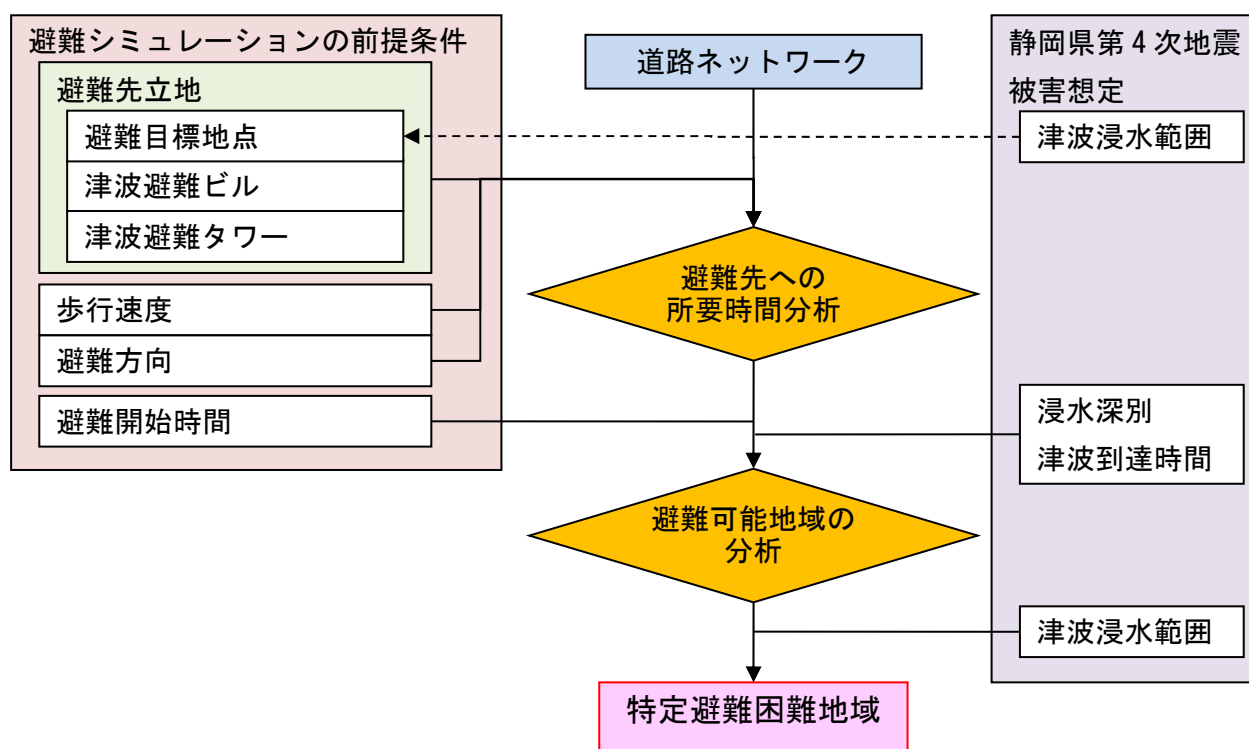
巻末資料 2 津波からの避難について

本資料は、「伊豆市“海と共に生きる”観光防災まちづくりをみんなで考える会（2回目）」において、観光防災まちづくりの課題や基本方針を踏まえた自助・共助の取組みについて検討・共有するための参考資料として活用しました。

1 検討手法

（1）検討手順および避難シミュレーションの条件設定

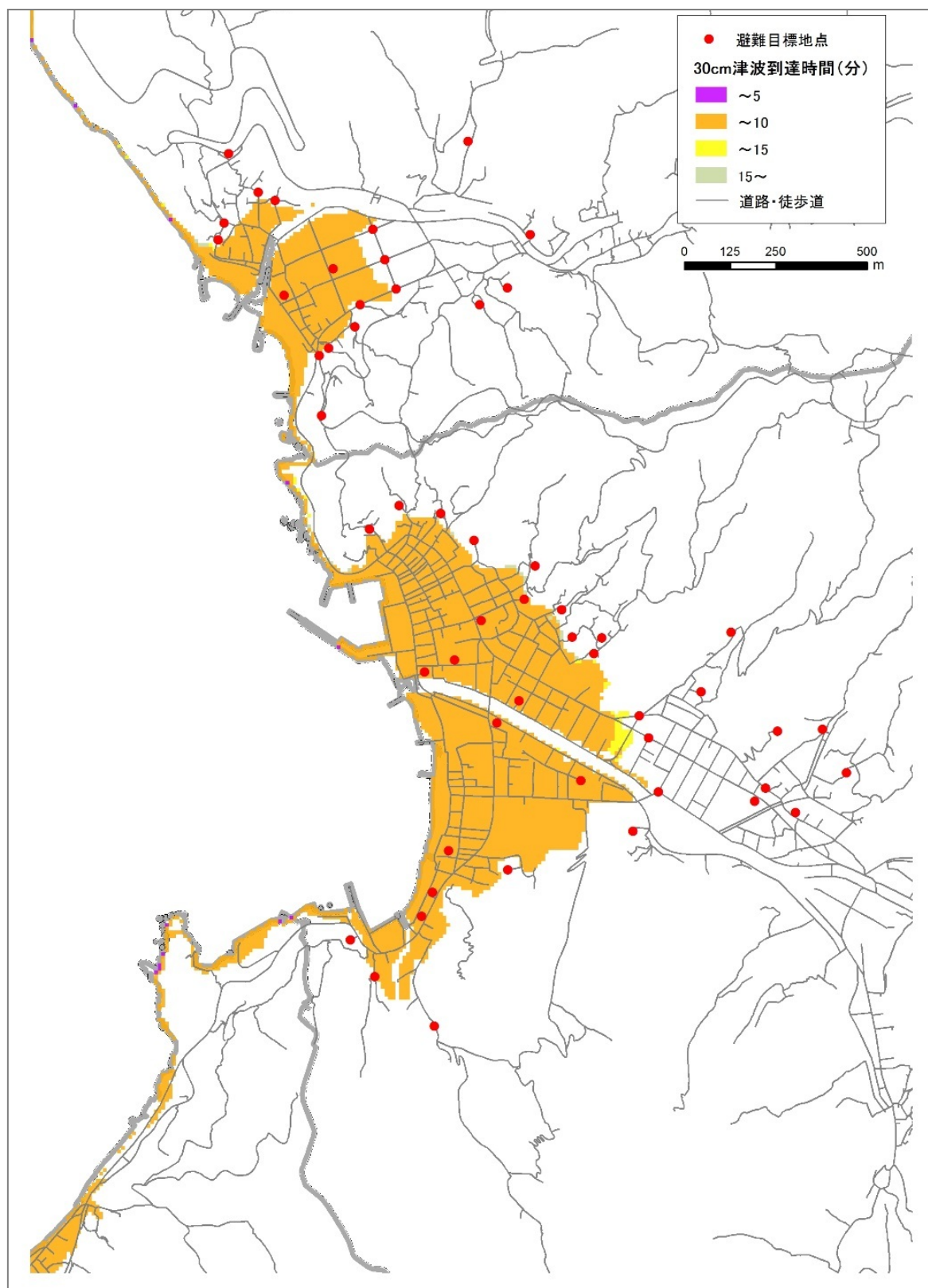
静岡県第4次地震被害想定や津波防災まちづくりの計画策定に係る指針を参考に、避難先、避難経路、歩行速度、避難の方向、避難開始時間等を設定し、「特定避難困難地域」を算出しました。

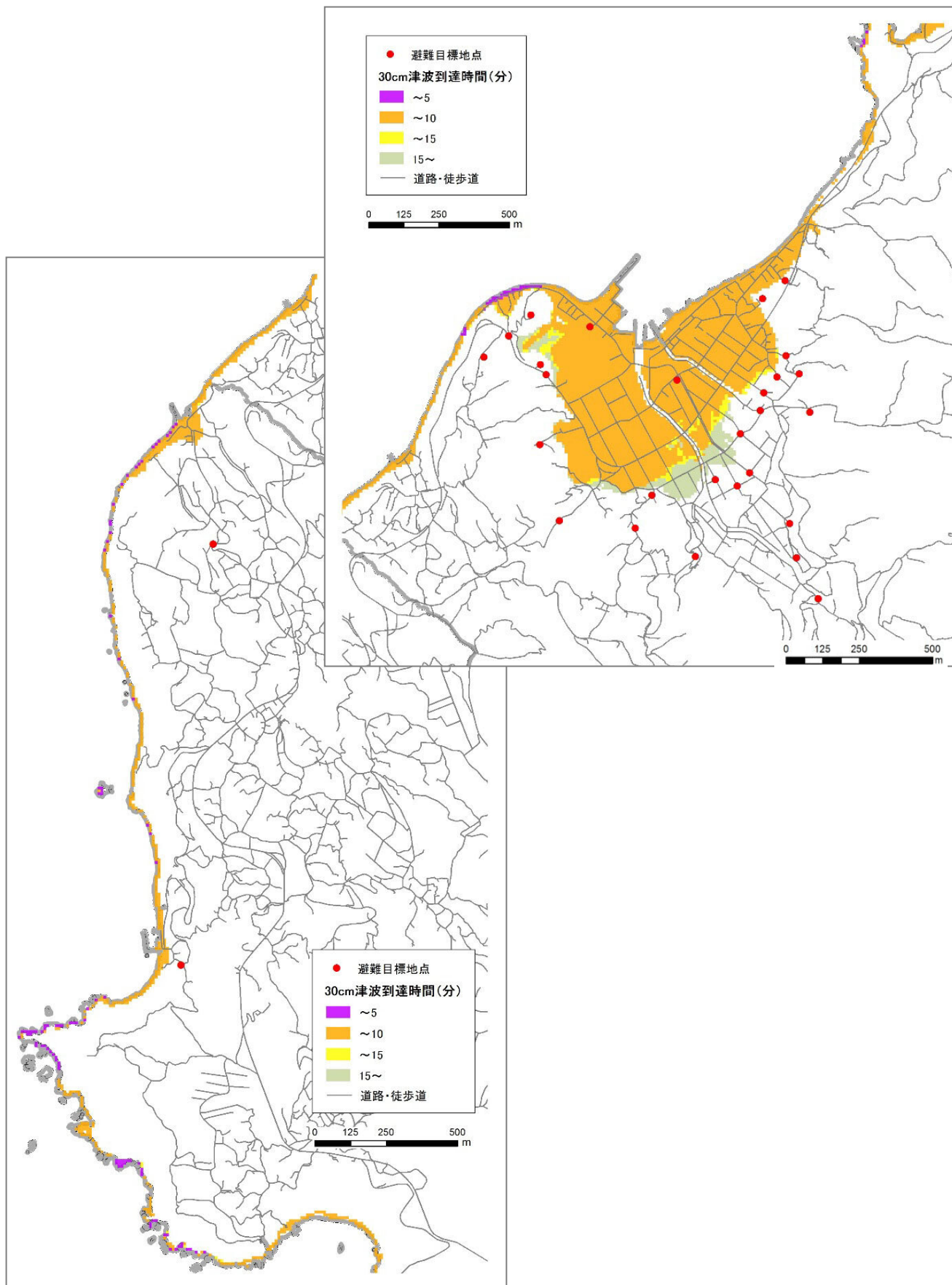


項目	設定内容	備考
避難先立地	避難目標地点、津波避難ビル、津波避難タワー	現時点での立地状況 避難目標地点は、浸水範囲外にある道路を適宜設定。
道路ネットワーク	車道および歩道	DM データ（1/1000）より抽出
歩行速度	60m/分、100m/分	津波防災まちづくりの計画策定に係る指針等
避難方向	全方向	最寄りの避難場所に避難するように設定。
避難開始時間	発災4分後 発災5分後	避難開始時間は、地震発生時を0とする時間

(2) 避難目標地点

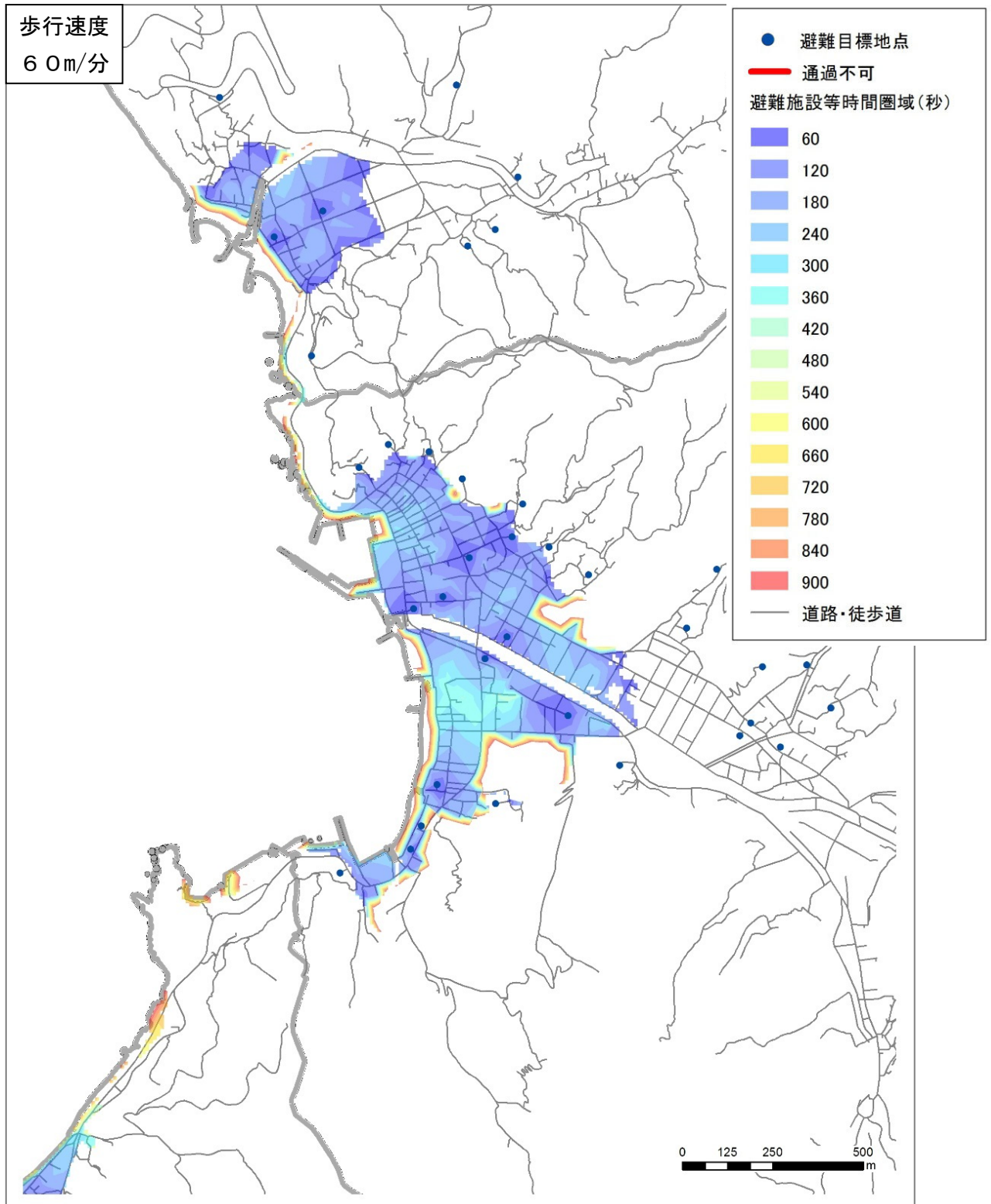
- 津波避難ビル、津波避難タワー、避難目標地点（浸水範囲外の道路上）は、土肥地区で 35 箇所、小土肥地区で 19 箇所、八木沢・小下田地区で 29 箇所設定



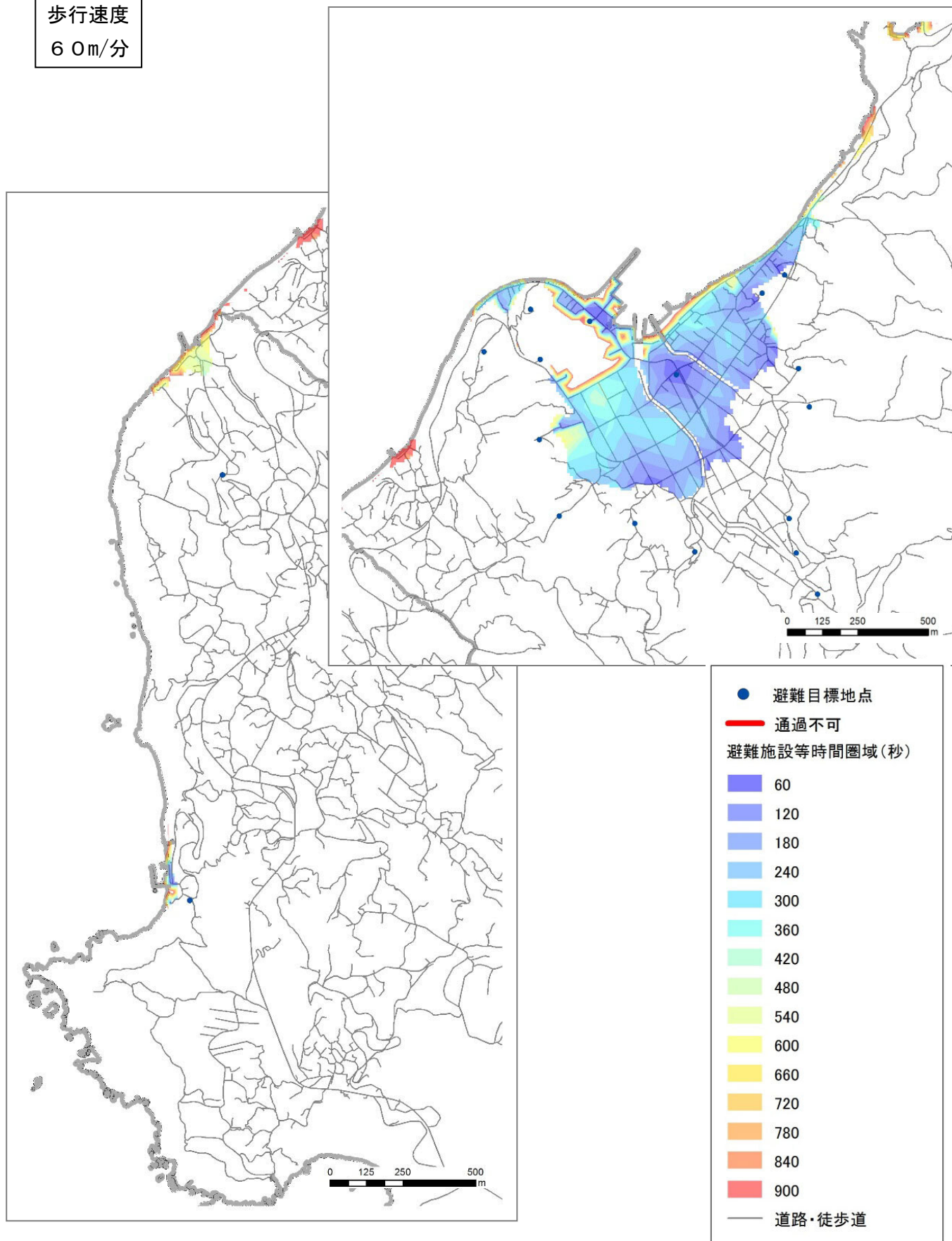


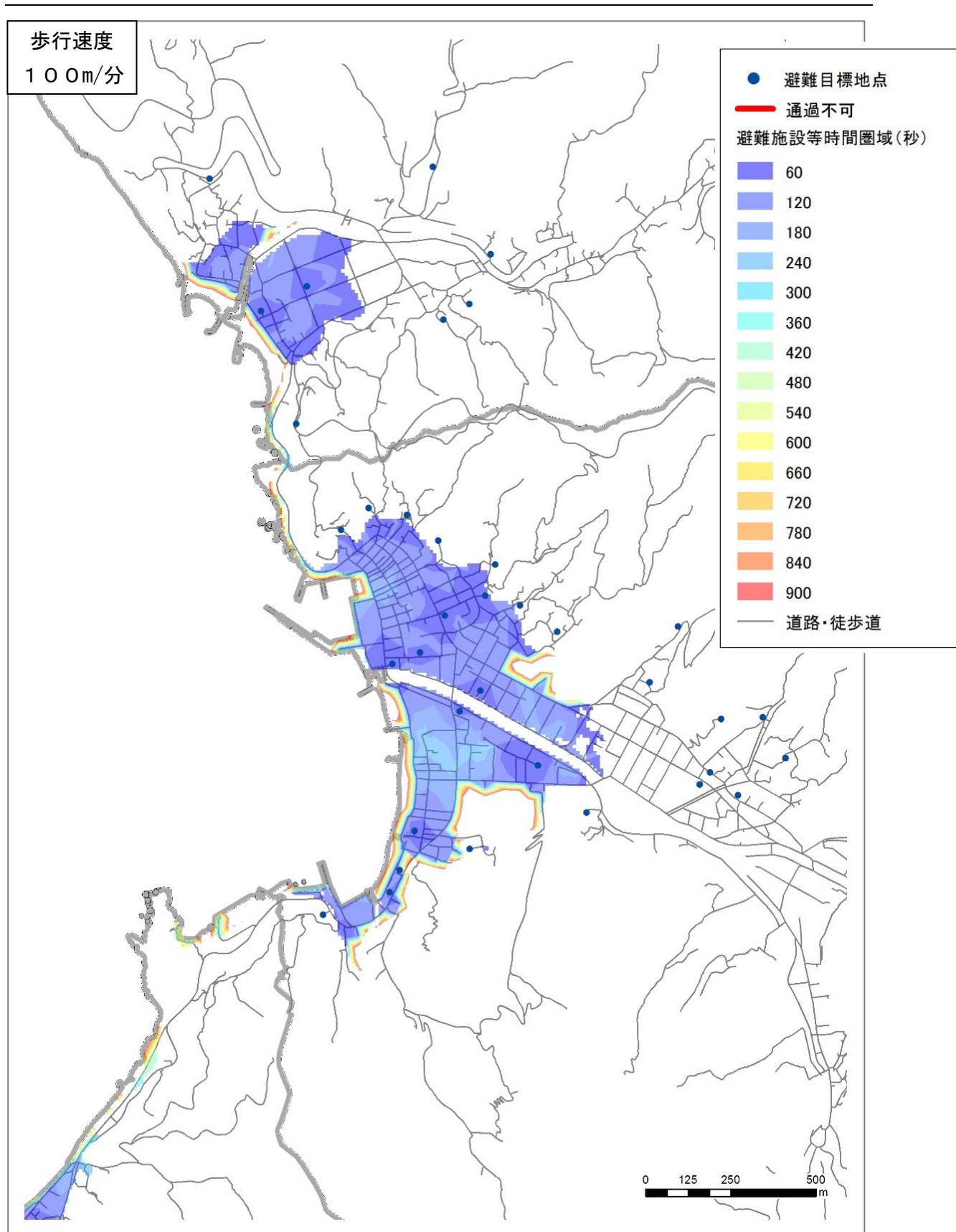
① 避難施設からの等時間圏域分布

- 避難施設への到達時間を、避難開始時間を考慮した上で、地震発生から1分単位でGISを用いて分析
- 土砂災害特別警戒区域については、発災後に道路を寸断する可能性があるため、対象区域に含まれる道路は通行不可に設定

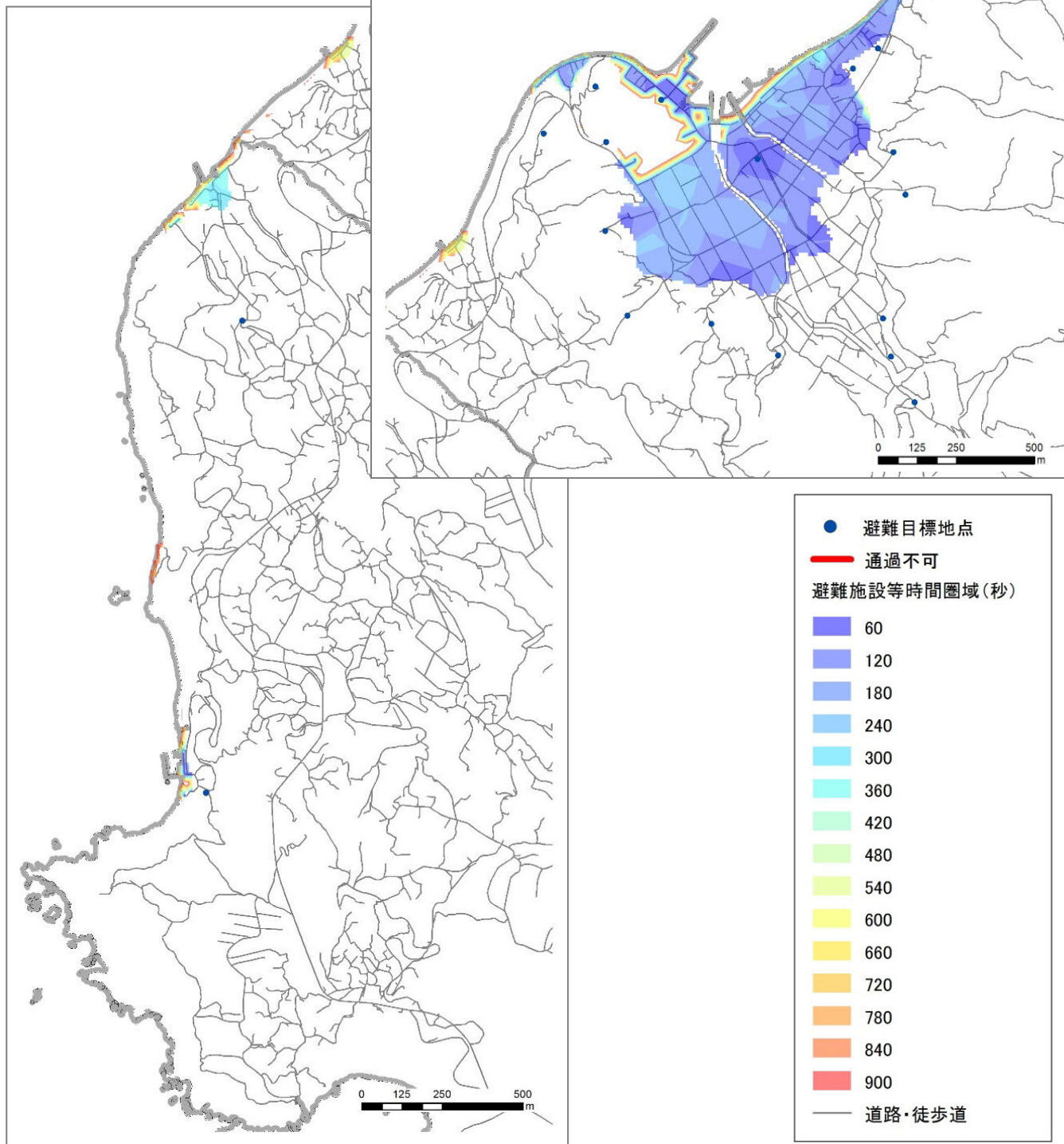


歩行速度
60m/分



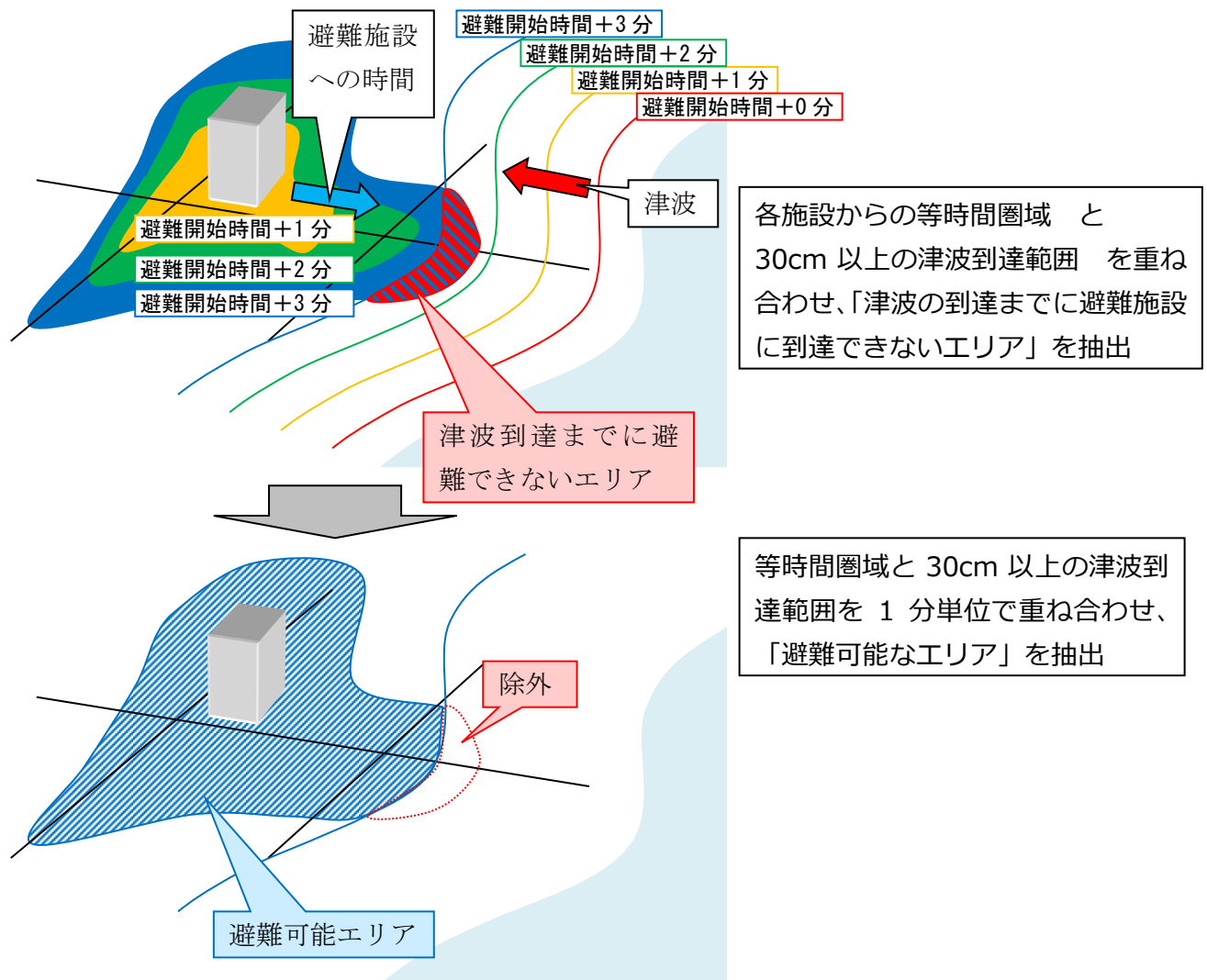


歩行速度
100m/分



② 避難可能地域の抽出

- 各避難施設からの等時間圏域と、歩行困難な津波の時間別の到達範囲を重ね合わせ、津波の到達までに避難施設に到達可能なエリアを「避難可能地域」として抽出
- 津波が短時間で到達する伊豆市の被害特性を考慮し、地震発生から1分単位で避難可能地域を抽出



2 特定避難困難地域

- 特定避難困難地域の面積は、30cm 以上浸水範囲（ 1.18km^2 ）に対して
 - 約 33%となる 0.39km^2 （発災 5 分後に避難開始、歩行速度 60m/分）
 - 約 18%となる 0.21km^2 （発災 4 分後に避難開始、歩行速度 60m/分）
 - 約 4%となる 0.05km^2 （発災 4 分後に避難開始、歩行速度 100m/分）
- 発災 5 分後に避難開始した場合、土肥・小土肥・八木沢地区など、沿岸部の多くの地域が特定避難困難地域となる。

